

学校だより 9月号

学校教育目標
重点目標

「美しい人」
「自分で考え自分で決める」～みんなのウェルビーイングを育成～

発行日 令和8年9月1日
北の台中学校長

学びを、力に

このたび、熊本県をはじめ各地で発生した地震や、千葉県を襲った記録的な大雨により、被災された方々に、心より哀悼の意とお見舞い申し上げます。一日も早く、安心できる日常が戻ることを願っています。

9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓として、災害について考え、備える日として定められました。

私たちは、歴史の中で何度も自然災害と向き合ってきました。今年の夏も、世界各地や日本国内で自然災害が発生しました。地震や、大雨など、突然の災害によって、それまでの当たり前の日常を失った方々がいます。不安な気持ちを抱えながら避難生活を送っている方もおられることでしょう。

被災された方々が経験された不安や苦しみを、私たちがすべて理解することはできません。それでも、「今、どんな思いで過ごしているのだろう」と想像し、その方々に心を寄せることはできます。そして、災害について知り、自分たちにできることを考えることも、大切なことです。

社会科の歴史の時間では関東大震災などを取り上げ、災害が人々にどのような影響を与えたのかを学びます。地理の時間では、地形や気候と自然災害との関わりについて、理科では地震や気象など、自然の仕組みについて学びます。保健体育や技術・家庭科、総合的な学習の時間などにも、防災につながる学びがあります。

このように考えると、防災は「防災の日」にだけ学ぶものではありません。毎日の学びそのものが、いざというときに自分や誰かの命を守る力につながっています。

始業式のあとで、防災学活を行います。ここでは、災害が起きたときに「自分の命をどう守るか」「周りの人のために自分には何ができるか」についても考えていきます。学校は大きな災害が起きたときには、地域の方々が避難してくる場所にもなります。9月13日には、避難所開設訓練が行われます。地域の皆さんと一緒に考える貴重な機会です。中学生は、守られるだけの存在ではありません。地域を支える人にもなれます。過去の災害から学び、知識を得ることで、いざというときに自分で考え、行動する力を蓄えてください。

そして、いざというときに大きな力になるのは、人との「絆」です。

困っている友達に手を差し伸べる。相手の立場を考える。一緒に力を合わせる。毎日の生活の積み重ねてきた「絆」が、いざというときの「支え合う力」になります。

今日から2学期。合唱祭や体育祭、授業、委員会活動など、仲間と力を合わせる場面がたくさんあります。一人一人の学びを、自分自身のためだけでなく、誰かのためにも生かしてほしいと思います。仲間との「絆」がより深まる2学期にしていきたいと思います。

＜令和8年度 9月行事予定＞

日	曜	校内行事	清掃
1	火	始業式	○
2	水	給食開始、課題テスト、専門委員会	
3	木	体育祭結団式、放課後合唱祭練習開始	
4	金		○
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水		○
10	木		
11	金		○
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		○
17	木	専門委員会	
18	金		○
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木		
25	金		○
26	土		
27	日		
28	月	第44回合唱祭	
29	火	学習会	
30	水	学習会	○

授業日数19日

最終下校（前半）17:45（後半）17:30